

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

社は
木材を通じて顧客に満足いただける取引に徹する

経常利益率
12.0%

自己資本利益率
10.0%以上

売上高
22,100百万円

経常利益
1,700百万円

② 中長期の経営戦略

1. プレカット事業強化

サイディングプレカット事業の早期軌道化、構造材との連携で提案力強化。加工機刷新による省人化・無人化で原価低減を推進

2. 材工一体営業展開

構造材以外の建築資材提案、建て方工事・内装工事の併せ提案でトータル営業力を強化。顧客ニーズへの対応

3. 建築請負事業拡大

都市部へのエリア拡大、大型木造非住宅施設受注に注力。職人多能化育成で人手不足対応。IT・DX活用で施工管理効率化

4. 不動産事業の基盤安定化

駅近収益物件や戸建て分譲候補地の取得を進め、安定賃貸収入確保。2026年4月開所予定の保育所2箇所準備

③ 対処すべき課題

① 住宅需要減少への対応

- ・人口・世帯数減少による中長期的な住宅着工戸数減少に備える必要
- ・大工業者の高齢化に伴う人材不足、業界再編への対応
- ・住宅建築価格上昇による取得マインド低下への対応

② 事業構造の転換

- ・プレカット事業の枠を超え、多様な収益源創造で成長持続
- ・環境問題や労働力不足の社会課題への新たな価値創造
- ・工場無人化投資、人的資本拡充による競争力強化

③ リスク管理と持続性確保

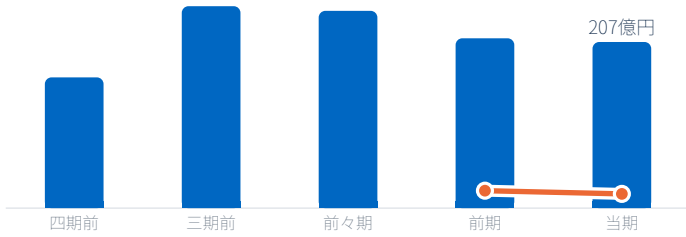
- ・セグメント別施策の確実推進とリスク把握、顕在化予防
- ・借入金返済推進と財務体質改善
- ・企業運営に内在するリスクへの随時対応

面で使えるポイント

- ・社は『顧客満足を通じた木材販売』の実現に向け、プレカット事業から建築・不動産まで一貫価値提供する強み
- ・新設住宅着工戸数が減少する中で、材工一体営業や大型木造非住宅施設受注で新たな成長機会を創出
- ・経常利益率12.0%・自己資本利益率10.0%以上という利益目標達成へ、工場無人化や人材育成に継続投資

証券コード 7808

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
207億円営業利益率
8.6%財務健康度
42点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 35.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
506万円

その他製品内 80位/105社

平均年齢
40.1歳

その他製品内 85位/105社

平均勤続
7.8年

その他製品内 92位/105社

女性管理職
7.1%

その他製品内 48位/83社

男性育休
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

